

みんなの県政

1971/7
NO.31 富山



:特集

水防



:特集

水防

ひとが生活を営むうえで、もっとも必要とする水。時としてこの水が人間の生活をおびやかすものとなる。

強大な自然のエネルギー、その恐さを経験したくないと、今年も防災訓練が行なわれた訓練がくねんで終るために、ひとりひとりが何をすべきなのか。

水の恩恵と恐さを忘れさっている日常の中で。



ペチュニア(ツクバネアサガオ)ナス科



〈表紙の説明〉

魚津の経木編み

ヒノキなどの木材を紙のように薄く削ったものに経文などを写したので、この名がある。現在は経木を編んで、夏用の帽子、スタレ、造花のしんなどを主に作っている。

化学製品のはんらんで、伝統的なものや、ひなびた味わいをもつものが失われてゆく昨今の例にもれず、この魚津にある工場は、北海道から大阪にかけてただ一つの製作所である。秋から永い冬の間、夏の日ざしを夢みて作り、たくわえたものが、三月から七月にかけて出荷され、遠くはアフリカ・ヨーロッパまでも輸出されるのである。

出水期にそなえて

災害は忘れたころにはなく、毎年のように発生し、多数の人命や財産が失なわれています。わが国は、とくに地形的にも気象的にも、洪水や高潮などによって被害を受けやすい自然環境になっています。本県も例外ではありません。

建設省や県では、河川・海岸の堤防工事、護岸工事、多目的ダムの建設、砂防工事などいろいろの事業を強力に進め、水害の防除につとめておりますが、広い国土における水害を防ぐにはまだまだ十分ではありません。

ただ、洪水や高潮時においては堤防が欠け始めたときに、土俵や枝葉の茂った樹木で水の流れをゆるめ、川倉を投入するなど適切な水防活動を行なったため、堤防の崩壊が防止され、莫大な損害が未然に防げたという例は、きわめて数多く残されています。つまり、人々の協力による水防意識が大変な重要性をもっているということです。今年も出水期をむかえて、次のことがらについていっそうのご協力を願います。

●水防資器材の整備点検

水防管理団体（市町村など）は、水防倉庫を開いて、格納されている俵、かます、縄、杭、鉄線籠などの水防資材や、スコップ、掛矢、照明器具などの器材を一斉に整備点検し、非常の時にいつでも立派に役立つよう準備しておいてください。

●水防団員などの拡充

毎年出水期をむかえる頃になりますと、各水防管理団体は「備えあれば憂いなし」の言葉どおり水防演習を実施し、水防技術の向上

を図っています。また、県でも水防倉庫や水防無線を整備し、毎年水防計画を定めて重要水防区域をきめるなど、水防活動が円滑に行なわれるよう準備しています。そして、出水の規模が大きくて地元だけでは防ぎきれない時は、他の水防管理団体や建設省、県が応援し、さらに不足すれば警察機動隊や自衛隊の応援出動を要請して協力してもらうことになっています。

このように水防に対する体制は万全を期していますが、最近の人手不足が反映し、どうしても水防団員が不足がちになっています。郷土を水害から護るため、水防団員はぜひとも増強されますよう、ご協力をお願いします。また、万一水害が発生した場合には、水防関係者の指示に従って冷静に行動することが第一の要点ですので、十分この点を守られるようお願いいたします。

●河川の保全美化

河川の堤防を掘ったり、護岸の石を取り除いたりすることが見受けられますが、このような原因で堤防がこわれ、大きな被害をまねくこともあります。堤防の破損防止や清掃、草刈りにご協力をお願いします。また、河川にごみ、汚物などを捨てて水の流れを阻害することは、川を汚すばかりではなく、洪水の際被害を大きくする原因となりますから、このようなことのないよう十分ご注意ください。

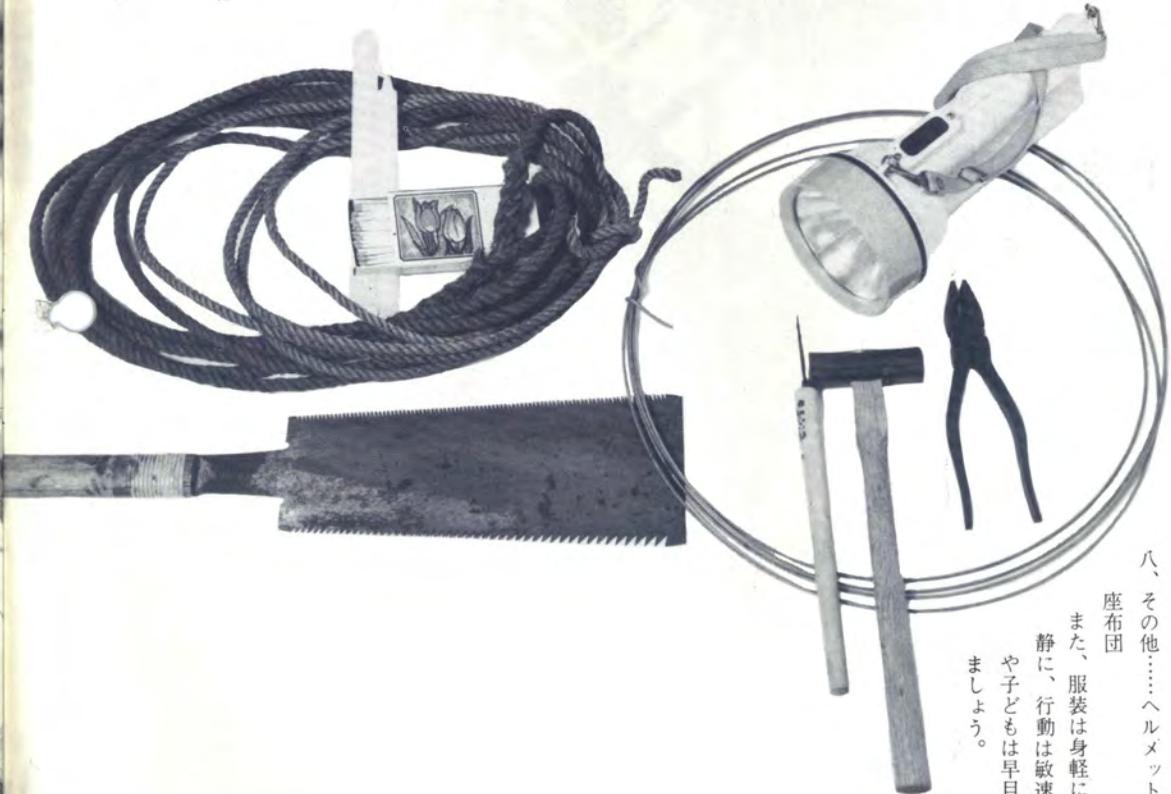
●災害に備え 家庭での準備

ムダなことだと思っても、水害に備えて各家庭では、次の用具を常に準備しておきたいものです。

一、照明用具……ヒモをつけた懐中電灯、ロ

- 一、ソック、マッチ、ライターなど
- 二、大工道具……金槌、ノコギリ、ペンチ、釘、ロープ、針金、板切れ、竹竿、ナイフ
- 三、食料……飲み水、水筒、パン類、缶詰類
- 四、炊事道具……七輪（コンロ）、木炭
- 五、応急医薬品
- 六、容器類……風呂敷、リュック、ビニール
- 七、情報手段……地図、鉛筆、トランジスタラジオ
- 八、その他……ヘルメット、ズキン、座布団

また、服装は身軽に、避難は冷静に、行動は敏速に、年寄りや子どもは早目に避難させましょう。



「青少年の非行について語る」



ご出席

吉村 茂 (富山市少年補導センター所長) 司会
桜井 定一 (県教育委員会 指導主事)

大西 忠人 (県教育委員会 指導主事)

藤岡 正則 (県教育委員会 青少年教育係長)

島沢 正 (県警本部 防犯課 課長補在)

司会 まず最近の中学生や高校生の考え方や行動を通して、健全な青少年と非行青少年の考え方にどのような違いがあるか、それぞれのお立場から意見を伺いたいと思います。



島沢 健全な立場にある少年も非行少年も共に現代における社会環境の影響を免れるものではないと思いますが、特に非行少年について話るとき、その環境、社会的背景を無視することはできません。

それは有害マスコミのはん濫、享楽娯楽的営業の増加、モーターゼーションの進展、暴力団の復活台頭、薬物乱用の流行、価値観の多様化と疎外者、強烈な商業宣伝とスーパーマーケット式の販売形態などであり、是非弁別の認識の低い少年ほどその影響を強く受けております。

司会 では、教育の面からみれば子供たちの動向、あるいはその対策についてどうでしょうか。

大西 総理府の青少年の意識調査によりまずと、健全な少年にくらべて非行の経験のある少年は、社会的な連帯感に欠け、依存的ですべてに無関心なところがあり、余暇の使い方が誤まっているというデータがでています。



藤岡 教育と警察は、病気に例えれば予防と治療という関係で、いずれも青少年をいかに健全な方向にもっていくかということだと思えます。生涯教育という点から考えてみますと、青少年をとりまく人たちがいろんな機会をとらえて、物の価値観や考え方のズレをどのように受けとめていくか、ともに勉強してゆく姿勢が必要でしょうね。

桜井 従来の家庭は生産や商いの単位であつて、家族ぐるみの労働のなかから子どもが社会性が育成されたわけですが、最近はその傾向が少なくなり、消費や憩いの面のみが家庭の役割と見なされるようになってきているようです。

司会 家庭のこういった状況をふまえて、学校教育の中でどのように指導するかが問題となってくるようです。夏休みをひかえて、一片の通達ですますことなしに、キメのこまかい指導を行なうべきでしょうか。

桜井 家庭では社会生活に必要な基本的事項を指導し、学校ではそれぞれ個に応じた指導

を心がけるべきでしょうね。

司会 一般の人々や家庭に対する具体的な要望などがでてきましたが、一番大きな問題は親と子の意識のズレがクローズアップされてきます。服装やあいさつといったささいなことでも、親と子の考え方の違いから問題が起つてくるようです。

島沢 調査によれば、健全な少年の場合でも五二%が一度は「家を出たいと思ったことがある」とのべているが、その動機は「親にいられて頭にきた」「毎日の生活がつまらない」といったものであり、不断における父母の監護態度、家庭のふんい気について考えてみるべきだと思えます。特に家庭に対する要望は子どもの監護について責任をもち、積極的に愛情的な関係をつくるように努めること、家の中を暗くする要素をなくすこと、家族の生活習慣や地域社会のきまりを大切に、それぞれ自分勝手な行動を慎むようにしつけることだと思えます。



大西 生徒の人格を認めて指導するということを念頭におけば、知識のつめこみでなく情動的な面も重視してゆかねばならないし、生徒たちのクラブ活動などを通じて生徒と先生の裸の触れあいをやってゆかねばならないですね。校則にしても、根本的にといえますか

なぜこうなのかという明確な理念を話しあいでもぶつけ合うことが大切ではないでしょうか。

藤岡 そうですね。一方的な押しつけでなく相手の立場に立って考えてみる必要があるです。どんな人だつて話をすれば相通ずるところが必ずあるものですよ。反抗心は成長期の心理的傾向のあらわれでもありますから。



島沢 少年たちにとって教師という存在は、ある面では親以上の意味をもっているし、その影響力は大きい訳ですが、聖心女子大教授の研究報告書にも、学校全体が生徒の生活導面に相当の努力を傾け、教師がお互いに協力しあえるという関係を維持することが必要といっています。

藤岡 家庭では、命令系統を一本にしなくてはならないと思います。父親が叱っているのに、母親が子どもの方に味方してしまうというのでは、子どもに善悪について混乱を起させることになりかねません。とくに母親にこのことは望みたいですよ。

大西 子ども自身も、父親はもっと厳しくあつて欲しいといつてますね。断絶なんて言葉はある程度一部のマスコミにのせられている面もあるのではないのでしょうか。大人自身の正しい考え方による主体性をもっと押し出すべきではないでしょうか。



司会 考え方やしつけの基本は幼児期にあるといわれますが、若いほどよいという事は統計的にも表われています。児童憲章の中味の検討や両親の感じ方の相違など、お互いに補完しあうことによつて家庭団らんができるのではないのでしょうか。

桜井 子どもを指導する場合でも、指導するもの自らが反省しつつ、お互に成長してゆくという基本的な態度が必要です。大人が無責任であれば、子どももそうなつてゆくのは当然といえます。

司会 お手伝いなんかは、親への感謝の気持ちのつながりの大切な要素となるのでは。
桜井 それはぜひ強調していただきたい。子どもが家事の手伝いなどを通して生活の仕方を学習し、親子の愛情の交流をも深めていくこのような家庭が理想的ですね。
司会 これから夏休みになります、そういう面から何かひとつ、ささいなことでもいい

習慣を訓練して、基本的なものを身につけさせたいものですね。
大西 過保護が子どもにも与える影響は大きいと思います。思いつきの思考もそうで、自己反省して耐えるということが必要でしょう。
島沢 子どもは結局親の反映といわれますが、決して子どもばかり責められません。
大西 幼児の場合、親の言うことから影響を受けることも大きいのですが、それよりも親の行ないから影響を受けることの方がもっと大きいと思います。



大西 最近の世相の風潮といえますか、金持になりたいというお金万能の考え方もつた子どもが多いですね。
司会 夏休み中のアルバイトで得たお金を、野放図に使わせることにも原因があるのではないのでしょうか。
桜井 叱るということでも、結果をみてからその子どもに応じた叱り方が必要です。日頃の倫理観や慣習の基盤がないところへ、突然はいつても感情的になるだけで……



桜井 ものの見方や考え方の指針は親ですね。藤岡 そうですね。物の価値観・生命観というものを充分家庭の中で育てていただきたい。最近は何物もこわしても悪いと思わず、金銭でもって弁償するという風潮がありますが、これはたいへん間違つた考え方だといわねばなりません。

司会 やはりアフターケアも必要ですね。いろいろと各界の立場から貴重な意見を聞かせていただきましたが、特に感受性の強い時期でもあり、未来を担う青少年に対して、教育や警察の区分を離れて、お互に協力しあつてゆかねばならないと思います。本日はどうもありがとうございました。



安心を積み立てる 「企業共済」

《企業共済》は、事業主のためにつくられた、ただ一つの国の共済制度です。

第一線を引退して老後を楽しみたいと考えておられる方、いづれご子息に事業をひきつぐこととしておられる方は、ユウユウ自適の老後のプランをたて、生活資金をあれこれとお考えのことでしょう。

また、今は健康ではりきつて事業に打込んでおられる方でも、一家の大黒柱として、もし自分に万一のことがあつたら、経営困難で商店や工場を閉鎖せざるをえなくなつたら、と、家族のことをお考えの方もあつて思っています。

もう、その気づかいは無用です。

《企業共済》は、こうした小規模企業の事業主の将来の生活設計、生活安定のために、国が作った事業主のための退職金の積立制度であり、事業や事業主の不測のできごとにならえて、企業保険の性格をとりいれてあるものです。国は、昭和四〇年一二月に小規模企業共済事業団を設立し、この事務を行なっていますが、その経費はすべて国費でまかなわれ、また、掛金は、法律によつて保護されており、安全有利に預ることになっています。

● 加入資格

加入できるのは、商店主、工場主はもちろん、理容・美容・飲食業などのサービス業、開業医・弁護士といった自由業など、広い業種にわたっています。会社の役員は、全員加入できます。

● 掛金

掛金は月掛で、月五〇〇円から五、〇〇〇円まで、五〇〇円きざみで自由に選ぶことができます。途中で変更することもできます。

● 加入者に対する利益

保険制度は、貨幣価値の変動がよく問題になりますが、この制度では、五年ごとに再検討することになっており、進歩した規定が設けられています。また、共済金は法律によつて定められており、五〇〇円の掛金を払い込んである人には、二〇年で二八万円、三〇年で六三万円にもなります。それぞれ掛金は合計で二万円、一八万円ですから、非常に有利です。

二、掛金は全額所得控除

企業共済の掛金は、全額が所得税、住民税の控除の特典を受けます。

三、共済契約は相続ができます。

四、共済金は、差押えが禁止されています。

五、その他、加入者は、設備近代化資金の貸付けも優先的に考慮され、将来は、事業の還元融資の途もひらかれる予定です。

県と商工関係諸団体では、この加入を促進するため、七月をPR強調月間に定め、運動をくりひろげることになりました。詳しいことは、銀行・相互銀行・信用金庫・信用組合・商工中金などの金融機関の本支店・商工会・商工会議所・中小企業団体中央会はじめ各種の中小企業団体や組合にお問い合わせ下さい。

事業主にも退職金ができます

【事業主のための退職金制度】





水田転作物

稲作転換による野菜産地の育成

米の生産調整に伴うことしの転換作物のうちでは、野菜がもっとも多く、五月末現在、一五〇〇ヘクタールと、昨年の約三倍となっています。ことしは、とくに生産性の高い集团的産地の育成を指導の重点にしていますが、県下各地で組織的な集団転換がみられるようになっていきます。ここに、その模範的な例をご紹介します。

一、婦負郡八尾町のトマト・キュウリへの転作

1、集団転作への動機とその活動
八尾町の野菜は、昭和二十九年頃から産地としての芽生えがあり、その後、生産者・町・農協・関係指導者が一体となって努力をした結果、昭和四十二年に、北陸でもいち早くの「はくさい」産地指定をうけたのです。この「はくさい」の共同育苗、共同防除は、昭和四十三年から福島・深谷地区でなされ、井田保内・杉原地区でも夏野菜のハウス共同育苗・共同出荷など、県下の産地に先がけてすめられ、省力による規模の拡大、野菜の栽培技術、収益性などについて、それぞれの農家が自信をもつようになったわけです。さらにこれが集団転作に結びついたのは、つぎの申し合わせが実行されたことによるといえます。

a、これまでの栽培者が集団の核となって集団団地を拡大推進する。
b、各自がリーダーという自覚をもち、組織的に活動。問題は全員で討議し、結論

を決める。
c、転作物は「トマト・スイカ・キュウリ」を重点にし、適地適産を推進。農協が一元集荷、共販体制とする。

d、野菜作りは集約的で、とくに収穫期は労働過重になりがちであるが、「家族の生活時間」を考えて、たがいに労働に無理のない計画をたてる。そのため、生産出荷に関する装備の近代化には、町・農協とも積極的に助成する。

こうして共同作業が楽しみとなる野菜生産団地ができたわけですが、とくに次の二地区が母体となっています。福島地区グループのうち、亀山利春氏が中心となって「トマト」の共同育苗をし、品種統一栽培協定、機械共同利用を推進されたこと。深谷地区では六人グループが中心となり、中でも平野嘉造氏が地域で賛同する人々と、他の水田を借りて「トマト」栽培を進め、共同育苗から集団栽培へと発展させていかれたこと。この二つでありましょう。

2、技術改善のための改良支柱の導入
果菜種のうちでもトマト・キュウリは、支柱を大量に必要とし、誘引も多労を要するものです。これを改善するために、従来の竹支柱はやめて、耐久性と省力効果のある鉄骨支柱に切りかえたのです。八尾町・杉原二農協管内六五戸の農家で、約一三万五〇〇〇本、約一〇〇〇万円が改良資金を利用して導入されました。（利用状況は写真No.1、図のとうりです。）

農協名	主な転作物	戸数	田地数	面積 (ヘクタール)	鉄パイプ支柱 (円)
八尾町農協	トマト	二五	五	三・四	四四六二・五〇〇
杉原農協	トマト	一三八	九	五・四	五五二〇・九八
計	キュウリ	六三	一四	八・八	九九八・五九八

3、出荷改善のための選果機の導入
収穫後の選果・調整・包装が、これまでほとんど家族労働に依存していたため、規模拡大の隘路となっていました。ここで本年の収穫物から利用する計画で、選果調整機二台を稲作転換促進特別事業として導入し、家族労働からの解放、品質向上にそなえています。

4、その他の機械化
八尾町は、構造改善事業などで圃場整備はかなり進み、共同利用の大型トラクター・防除機も装備しています。また、「はくさい」の産地指定によって、ロータリーリッヂャ（碎土畦立）・ライムソワー（石灰散布機）・ブロードキャスター（肥料散布機）も装備しており、耕起整地などは能率よく行なわれています。さらに指定産地による大型集荷場も機械化されていますが、稲作転換を契機に、なおいっそうの野菜産地強化のため、本年は共同育苗ハウス三棟、簡易集荷所三棟、集選果場の設置など、国庫補助対象事業だけで約一、二八万円を見込んでいます。

二、スイカへの集団転作
スイカについては、県下各地に集団転作がみられますが、この八尾町では保内地区に、四〇戸で一〇ヘクタールが、婦中町友坂地区では五〇戸余で約六ヘクタールが、トンネル早熟栽培を行なっています。七月下旬から八月にかけて、主に富山市場へ「松原スイカ」や「友坂スイカ」として、糖度の高い美味しいスイカがどんどん出荷されることとされています。（園芸特産課）

若き日に学んだ砺波中学、
 体操の時間、そのグラウンドで、
 遠く立山の光るのを見た。
 涙が出るほど懐かしい。

稲垣史生

青春多感の少年時代を送った、旧制中学の思い出は、誰にとっても生涯忘れることのできないものであろう。旧制砺波中学は、いまはその面影さえ、とどめていない。旧地の砺波市鷹栖には、県立砺波工業高校の鉄筋校舎が、昭和三十七年建てられ、砺波中学の伝統を継ぐ砺波高校は、駅裏の東幸町に移ってしまっただけだ。

「立山は、いまでも見えますか」
 「見えますがね。年に数回、それもよっぽど天気のいいときでないとな」
 「公害のせいでしょうか」
 「そうでもないでしょうが」

写真取材の記者に、学校の職員はこう語るのだった。

稲垣史生
 明治四十五年、砺波市の生まれ。旧制砺波中学
 早稲田大学文学部を卒業後、東京新聞社、サンニ
 ユースフオトなどを経て、文筆生活に入る。著書
 は「武家辞典」「江戸生活辞典」「戦国覚之帖」時代
 考証の話「戦国裸像」などで、第四八回直木賞候
 補にのぼった。また、歴史学会会員で、「春の坂道」
 などのNHKテレビ大河ドラマの時代考証にも活
 躍。



歯の衛生

食物のうらみが歯にきています！



六月一日には「歯がため」といって、正月の餅をとっておいでアラレやカキモチにして食べるという風習があります。これを食べると、歯の根が固まるとか、体が丈夫になるなどといつて「枕草子」にも「齢を延ぶる歯固めの具」として出ています。六月と歯の関係。今年も四日から十日まで歯の衛生週間です。特に食後の歯口清掃を今年は目標にしましょう。

周知のとおり、わが国のあらゆる疾患の中で最も多いのが歯の疾患。しかも年々増悪化、低年令化の傾向にあります。昨年の本県の三才児検診の結果をみても、ムシ歯にかかっているのはなんと七七・四パーセント、一人当りのムシ歯も四・二本となっています。成長のめざましい小児期のムシ歯が、子供にどんなに大きな全体的、精神的な影響を与えるか、最近の医学も

歯の疾患の予防には

強く警告しています。とくに日本人はこれまで子供のムシ歯を軽視してきたようですが、火傷を親の責任というなら、子供のムシ歯も親の責任といわれてもしかたがないでしょう。

歯の疾患の予防には

- 一、正しい方法による歯口清掃
- 一、強い歯を作るための栄養
- 一、定期診断による早期発見

そして根気強い治療です。これ以外にはありません。歯の衛生週間がキッカケ、一刻も早く日常の生活習慣にしてしまってください。食物のウラミは怖いもの。あのソツとする歯痛を思い起こしてください。

日本脳炎

●発生原因と予防方法

突然四〇度近くの熱がでて、頭痛や吐きけをもよおし、夏かぜとよく間違えうという日本脳炎。例年七月から八月にかけて流行する伝染病です。ご存知のようにウイルスをもった蚊（コガタアカイエカ）にさされることによって発病し、とくに子どもや老人などの場合は手足がマヒしたり、精神症状が残ったりという後遺症を残すことがしばしばあります。死亡率も高く、三分の一が死亡し、三分の一が後遺症、あと三分の一が治るといいます。本県でも昭和四二年から四年間に二四人が発病して、その中の九人が死亡しています。

積極的な予防策として、県では予防接種を五月上旬から実施しており、さらに蚊の駆除も全県的に一斉に行なうよう指導しています。また、発病を早くキヤッチするため流行予測事業もすでに開始しています。

① 蚊については、県内一〇カ所において毎週一回発生状況調査し、ウイルスの検査を行なっている。

② 人間より前に、まず豚の間に日本脳炎は流行するので、豚の病気発生を調査しています。

③ 毎年県内二カ所、人間の日本脳炎に対する抵抗力を調べるために、免疫力調査を行なっています。

これら調査の結果から、流行発生のきざしがあれば、関係機関に日本脳炎情報を発表し、一般に注意するよう広く呼びかけるわけです。

本年は気候不順でもあり、七月中旬以降に高温多湿の日が続けば、蚊の爆発的発生を見るのではないかと心配されているので、次の予防対策について十分注意してください。

- ① 予防接種の徹底
- ② 栄養や睡眠を十分にとり、過労をさける。
- ③ 蚊にさされないようにする
- ④ 個人衛生の徹底
- ⑤ 蚊の発生場所をとりのぞき、蚊の駆除を地域ぐるみで実施。

県のうごき

5月11日→6月11日

五月二日 技能五輪県代表選手の壮行会
第九回技能五輪大会に出場する富山県代表選手団の結団式と壮行会は、富山市の商工会で開かれ、選手八人を激励し、松田県職業訓練課長から山下団長へ県旗が授与される。



緑の週間のフィナーレ

五月二六日 緑の週間のフィナーレ
第二回富山県植樹祭は、富山平野と日本海を一望に見おろせる、魚津市小菅沼大田尾の地内でひらかれた。中田知事をはじめ、県緑化推進委員長ほか関係者や地元小中学生など約一千人が参加し、住みよい郷土づくりへとタテヤマ杉を記念植樹した。

五月二八日 ミズバシヨウ歌碑できる
一昨年、全国植樹祭にご来県された天皇陛下が、城端町の縄ガ池に咲く県指定天然記念物ミズバシヨウの群生をご覧になってお詠み



ミズバシヨウ歌碑できる

五月三〇日 新就職者のつどい
ことしの春、あたらしく就職した中・高校生（県内・県外）をほげます、若人のつどいが黒部の市民会館でひらかれた。先輩の貴重な体験を聞いたあと、アトラクションに楽しい時をすごした。

五月三十一日 立山有料道路開通式
北アルプスの立山中腹を縦断する立山・黒部アルペンルートの中線開通に先立ち、立山有料道路の開通式が現地で行なわれた。車に乗ったまま、標高二、四五〇メートルの室堂まで行き、立山ロープウェイ・ケーブルなどで黒四ダムまで結ばれる。しかし、当分の間は営業用バスに限られる。



立山有料道路開通式

六月二日 神通川をきれいに
神通川をきれいにする協議会の総会は県民会館でひらかれ、これまでのPR活動中心の会から脱皮し、基礎調査にもとづいた神通川美化運動を推進することを決めた。

六月六日 立山・黒部アルペンルート展
国際山岳観光地として脚光をあびたアルペンルートの宣伝と、自然保護を目的とした展覧会が八日までひらかれた。映画・スライド上映のほか、無料招待の抽せんなどもあり、連日約三千人の観客でにぎわった。

六月八日 移動相談室
県庁移動相談室は、砺波市太田の太田公民館をかきりにひらかれた。今後も率直な意見や要望を県政に反映させていく方針。



長崎大橋の完成



味噌 がんぼ

漆間元三
(県史編さん室主査)

二十五年前、五月雨の降る八尾の大長谷から、利賀村へ山越えして水無部落に行く途中、日が暮れて、奥大勘場で一泊した。そのとき夕ご膳にだされたご味噌を付けたボタ餅はその名も「ミソカンパ」という変わった名で印象的だった。

一方黒ずんだ串が十数本いりばたに運ばれてくる。長さ三尺余りで八分角もので、上は偏平に削つてある。三合ないし四合の大きな握り固めた飯をこの串にさし、手の平で楕円形に平たくのして火にあぶるのである。火で乾くと、といて置いたご味噌を塗ってふたたび火に乾かす。焼いたばかりのものは、ごまのこうばしさがとくに風味と食欲をそそる。

一本の串はなかなかくえるものではないが、なかには一本でくいたりなくて、二本もたべる者もあるそう。そこにいろいろな山村としての珍談が生まれてくるのだという。

昔ほどの山中にも、常に濁酒をもつていてお神酒とこのミソカンパを神前に献じて、それからみんなが天気快晴の祈願を祝ったそう。また里下りの場合は、こどもへの土産にこのミソカンパが喜ばれるという。一時代前の風俗誌である。

この日では、ミソカンパのつくられるのは利賀の一部と朝日町山崎部落の山間地に限られているが、古いころには県内の山間の村々でもつくられていたらしい。南信地方や美濃では幣束に似ているので、ゴヘイモチの名もあるが、本県ではそう呼んでいない。

く。しかし本来は、天気快晴の祈願の山神祀りのためにつくられるものだ。ボタ餅といつてもご飯を押しつぶし、ひねり回したものであって、餅をつくとはいうが、実際はコネ回したご飯のことなのだ。米は一人あたり三合ないし四合くらい磨ぐ。少し強めに炊いて、それを鍋に入れたまま杵でこね回すのである。ボタ餅の杵は二尺あまりで、握り大のものだ。若い者がねじり鉢巻でねり回すと、だん

だん飯粒が消えてねばり強くなる。飯粒の全く見えなくなるまで汁を流しながらかき回すさまは、山間の奥地でなくては見られないものだろう。



暑い季節です。冷たいビールやジュースを食卓へとどける冷蔵庫は、夏に欠かせないものです。もはや生活必需品ともいえる冷蔵庫ですが、なんでも入れておけば大丈夫と過信してはいけません。完全な温度管理をし、衛生上安全な性能の限界を知っていないと、食中毒の原因にもなりかねません。

●冷蔵庫は温度が生命

庫内の温度の変化は、通常夏では、早朝五、六度に始まり、日中は条件によっては二〇度くらいまであがってしまうことも考えられます。なぜこんなに変化がおきるかというと冷蔵庫が空冷式だからです。冷蔵庫が冷えるのは、庫内の熱を吸収したガスが圧縮され四五度前後(少し暑い位の風呂の温度)になって裏側の放熱器に回ってきます。そこでこのガスの熱を外気に放散させ、冷たくなったガスは再び庫内にもどり庫内の熱を吸収する……これが連続して行なわれるのです。この放出される量が、そのまま冷却能力に影響するわけですから、外の気温が低ければ低いほど熱の放出がうまくいき、庫内はよく冷えます。外の気温が高くなると冷却力はぐんぐん落ち庫内の温度もあがってくるようになります。暑くなって温度を下げようとダイヤルの目盛りをあげるのも結構ですが、冷蔵庫のうしろの風通しをよくすることがいっそう大切なのです。

冷蔵庫は温度が生命です。その温度が何度になっているかを知らなければ、その値打ちも半減です。ところが、この温度を知ることはいかにむづかしく、物を入れると冷気をとり、その時々や場所によってずいぶん変わります。また、扉を開けるとその途端に中の温度も変わるの、冷蔵庫の温度にはとくに神

恵の知暮

●冷蔵庫の上手な使い方●

●食品によって 入れる段をかえよう

経質などは注意したいものです。

冷蔵庫の中の冷気は、上の部分で作られて下に送りこみ、それと交代に温い空気が自然にあがる対流によって庫内全体に行きわたるようになってるのが普通です。

食品の保存適温に少しでも近づけるため、この冷気の流れをうまく活かして保存の場所を選びましょう。



●使い方

- 1 庫内の棚に物をびっしり詰め込まない。
- 2 木箱や紙箱のまま入れない。
- 3 棚にビニールなどを敷かない。
- 4 湿気をさらう茶・のり・せんべい類を和紙に包んで入れておくと乾燥がよい。
- 5 暑い食品は必ずさましてから入れる。
- 6 氷の壁を作らないために、食品を直接ハダカのまま入れず、必ず容器に移し密閉する。(ポリエチレンフィルムで包む)
- 7 たまには、冷蔵庫がびっしり詰まっているかどうか調べよう。それには、閉めたドアのすきまに名刺を差し込んでみて、スツとはいるようではいけません。その時は横のネジを締め直すことです。



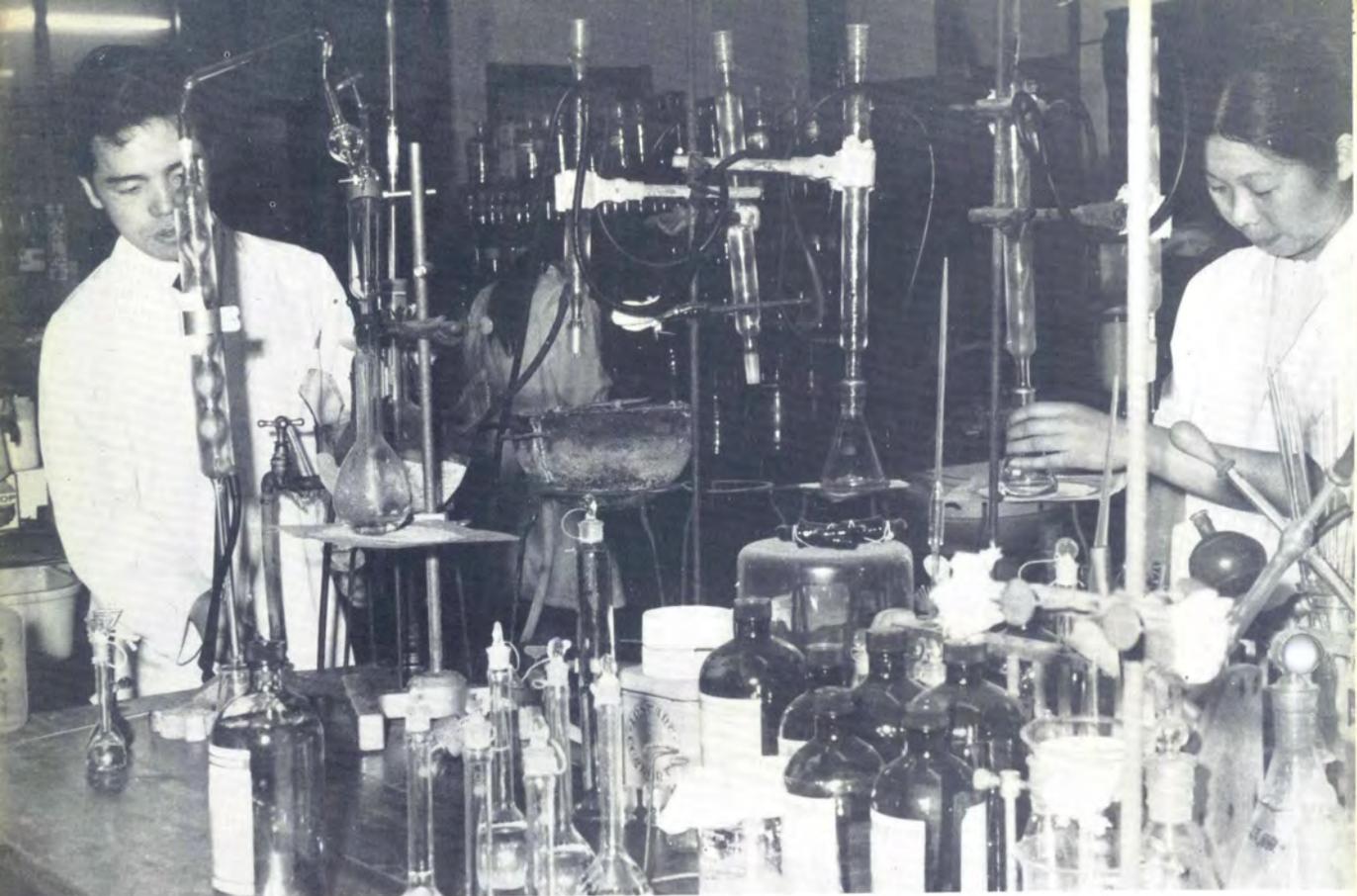
伝統を守り育てる 薬事研究所・薬業講習所

配置約8千人、160余の製薬工場をかかえる配置家庭薬は、いまや海外にまで普及しています。

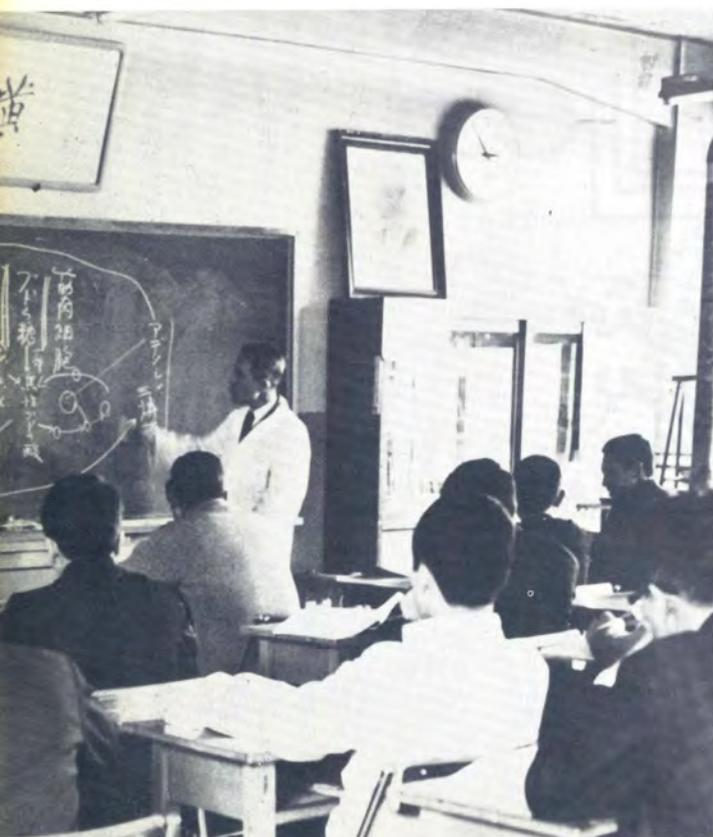
その地盤を守る研究機関として、昭和4年売薬試験場が設立されてから、今日の薬事研究所にいたるまで、全国8カ所にある研究所のうちで最も歴史があり、伝統を誇っています。

依頼試験はもとより、メーカーが独自で試験のできる開放試験室も完備しています。このような医薬品の試験、開発研究、製剤機器の研究から、包装資材や意匠まで、はば広い分野に活躍しています。また、技術の相談に遠く新潟・長野からも来訪者があります。

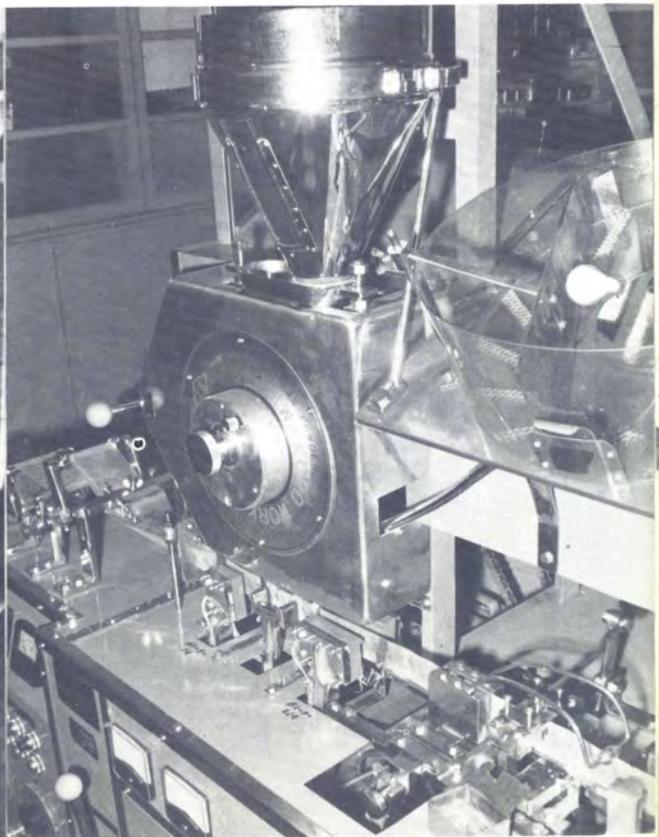
研究所のとなりにある薬業講習所は、配置員になろうとする人を対象に研修が行なわれるところです。資格を得るための条件として、また常に新しい知識を得るための再教育の場として、毎月行なわれています。



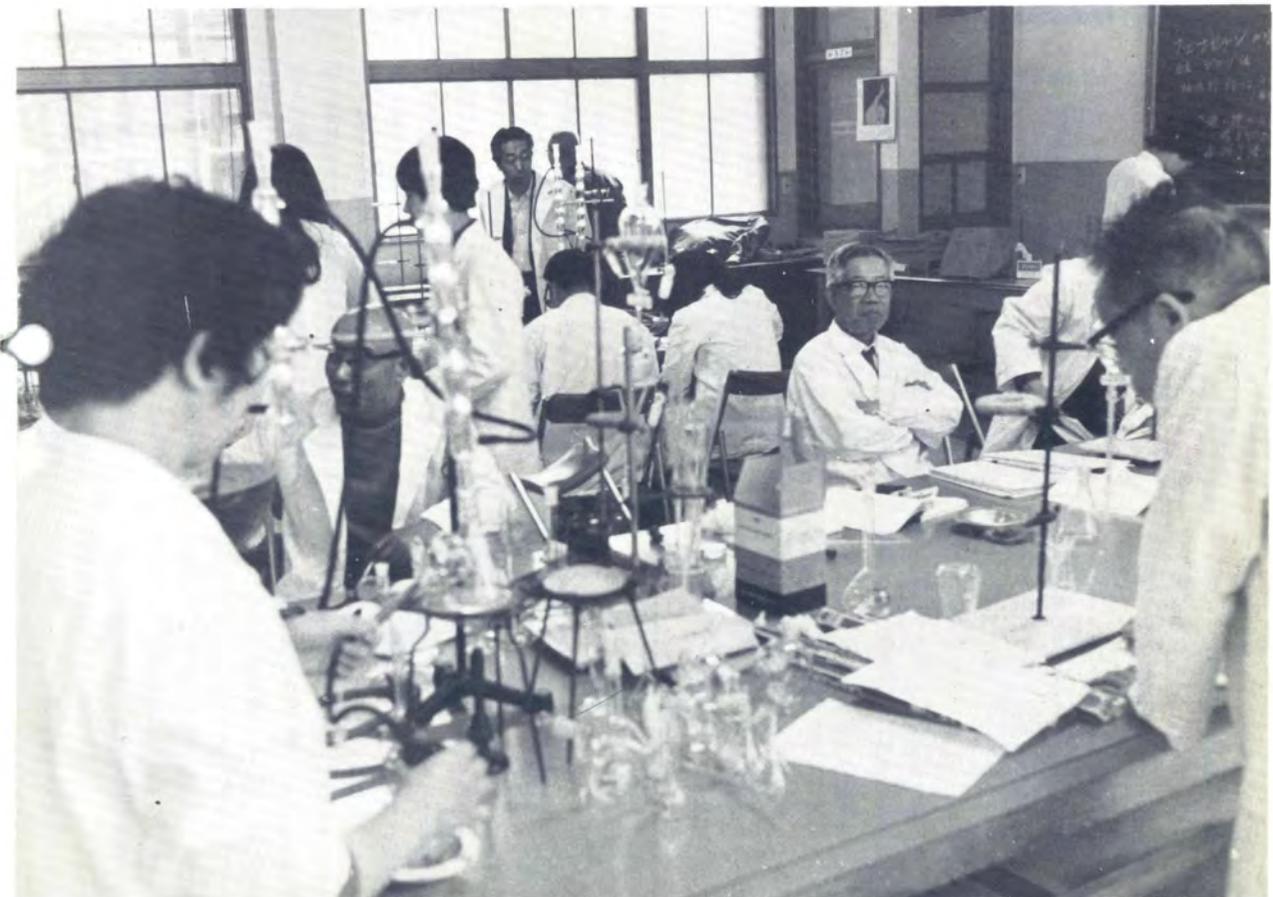
2. 職員の大半が薬剤師さん、常に研さん怠りなく指導・研究にあたる。



4. 新しい配置員をめざして、知識の取得基礎訓練をうける。ここにも女性の進出が。



3. 製剤研究のための新鋭製剤機も完備。



1. 自家試験室を利用する医薬品メーカーの人たち。真剣なまなざし、手つきも堂に入ったもの。

立野ガ原コース レクリエーション ゴキヤス



袴腰山―標高一、二六三メートル
その華麗な山容は砺波富士と称
され、庄川峡と白山連峰が一望
できる。山頂にはヒュッテもあ
る。



桜ガ池―北陸随一の大人造湖で
ある。山々の四季のながめを映
す湖面と、砺波平野を鳥かんし
遠く有磯の海を望む地として、
ボート、魚釣り、わらび、茸狩
り、スキーなど四季の行楽に絶
好。

縄ガ池―周囲約一キロ、東側に
鏡岩という巨岩があり風景がよ
い。池の水は清く澄んで干ばつ
にもかれず飲料水やかんがい
用いられている。
またこの池は「みずばしろうの
群落地（日本海岸で西南限）で
あり天皇陛下も先年お立ち寄り
になった。

林道温泉―炭酸泉としては、日
本有数のもので神経痛、胃腸病
などに特効あるといわれる。
城端駅からバスで15分。
夫婦滝―大滝山の急な崖にかか
る二条の瀑布で、まわりの原始
林と相まって幽玄静寂。

至城端

県政広報お知らせ

●テレビ：みんなの県政

県政の広報事項を、対談やフ
イルム構成で放送します。

北日本放送（七時四十五分～
八時）

七月四日・十一日・十八日・
二十五日

富山テレビ（十一時三十分～
十一時四十五分）

七月三十一日

●新聞：みんなの県政

北日本・富山・読売・北陸中
日新聞に、毎月一回県政の解
説やお知らせなどを掲載して
います。七月三十一日の予定
です。

●広報誌：みんなの県政配布

県民のみなさんとのパイプ役
として、県政のうごきを中心
に載せた雑誌です。市町村・
病院・銀行の待合室・学校・
農協などへお届けしています
ので回覧してお読みください。
また、県庁、富山、高岡、砺
波・魚津の各総合庁舎の県民
相談室窓口にも備えてありま
すから、ご自由にお持ち帰え
りください。

越中の伝説 魂の夜あそび



幕末のころ、富山城下のはなし。
ある売薬さんが、舟橋向いまで用事ででか
けた。
そのころの神通川は、いまの中部高校から

県庁・市役所のあたりを流れていた。そして
数艘の舟を鉄のくさりで横につなぎ、その上
に板を渡した舟橋があり、人々の交通に供し
ていた。従って、舟橋向いというところ、いまの
富山駅前から愛宕町にかけての、神通川の対
岸だった。
用事は意外にまでまどろ、すっかり夜遅くな
ってしまった。岸辺の常夜燈のわずかな光り
に照らされた舟橋を、急ぎ足で渡る。舟端に
川波がヒタヒタと寄せるたびに、舟板がユラ
ユラとゆらいた。こわお足もとに気を付け
ながら、フト向うの闇をみると、青白く光る
人魂がヒトツ。フワリフワリ、上ったり下つ
たり、右へ行ったり左へ行ったり、遊ぶよう
に、さまざまのように、飛んでいる。
この売薬さん、なかなか気丈な人だったら
しい。

西町の十字路へくる



「こいつ、人魂とはおもしろい。どこへ行
くか、ひとつ見極めてやろう」
と、七軒町から総曲輪の方へフワフワ飛んで
ゆく、人魂のあとをつけた。
人魂は、はじめはふわついて、行きつ戻り
つしていたが、あとをつけられてい
るのに気づいたものか、逃げるように
西町の方へ飛んでゆく。売薬さん

と、人魂とはある商家の出窓のすきから、ス
ーッと家の中へ入ってしまった。
売薬さんは、その店の軒下にたたずんで耳
をすましているとき、家のなかでは、その家の
主人らしい大声が、
「アーツ、恐ろしい夢をみた」
寝ていたものが、いま目を覚ましたような
けはい。
「山行き（いまでいえばハイキング）にい
って、呉羽山から舟橋を渡って神通川の岸辺
で遊んでいると、こわい人に追いかけられた
逃げて逃げても逃げても
追いかけてくる。
汗水たらして走り
に走ったが、どう
とう追いつめられ
たところで目が覚
めた。アーツ、夢
でよかった。こん
なに寝汗をかいて
しまったわい」
大きな声で、家
族に話しているの
が聞こえた。魂が
身体をはなれて、
ひとり遊びをした
話である。

八尾 正治
(県民課長)

“こどもを交通事故から守ろう”



守ってやりましょう
“おさない生命”